



注意力を高めるカードゲーム！

①リング・ディング・・・課題カードに描かれた色や指の組み合わせを見本として、自分の指にヘアゴムをはめていきます。全プレイヤーが一斉に同じ課題に挑み、誰よりも一番早くできたプレイヤーが、ヘアゴムをはめたその手でベルを鳴らすという、速さと正確さを競うゲーム。②ダブル・・・ネコ、トラ、ニワトリ、シマウマ、ヘビ、オウム、ラクダ等々、29種類の動物のうち、どのカードにも6種類の動物が描かれています。数人で行うゲームですが、1人5枚程度のカードを持って、中央に置いたカードを見て手持ちのカードに同じ動物を素早く見つければ中央に置いたカードの上に重ねていきます。この繰り返しで、いち早く手持ちカードがなくなればその人の勝利です。③スピードキャップス・・・青、黄色、赤、緑、黒の小さなキャップを、カードに描かれたのと同じように横や縦に並べ替えるたり、上に積んだりするゲーム。いち早く出来た人はベルを鳴らします。そして、提示された次のカードを瞬時に見てまた並べ替えていきます。この繰り返しです。④はあって言うゲーム（これが正式の名前です）・・・前に挙げた3種類のゲームとは違い、表情や声の調子、トーンなどをよく見聞きし、正解を当てるゲームです。（例）お題カード「うわーっ」A. 体重計に乗って「うわーっ」B. 見上げて「うわーっ」C. 驚かそうとして「うわーっ」D. ジェットコースターで「うわーっ」E. ゴキブリを見て「うわーっ」F. プレゼントを開けて「うわーっ」この中からどれか1つをイメージして声と表情だけで演じます。周りにいる人はAかBか・・・答えを言います。演じる人をよくよく見ていないと当てることは難しいです。想像力を養います！30種類のお題カードが用意されています。登園後みんなが揃うまでの間や雨降りの時などに楽しんでやっています。



次年度児童会役員選挙

12日（金）1校時に令和3年度児童会役員選挙を行いました。立ち会い

演説会では、5年生から9名、4年生から8名、計17名の児童がステージに立ち、声を張り上げながら立候補した理由を表明しました。「大きな声が自慢なので、みんなが元気になれるあいさつをします。」「普段からみんなのお手本となるようなあいさつをします。」「過去2回立候補したけど当選しなかった。3回目は次こそ当選すると決めたので立候補しました。」「学年関係なく遊べるような学校にしたい。」「学校に

響き渡るような大きな声であいさつしたいです。」等々、それはそれはみんなはっきりと語尾まで言い切りました。15日（月）の学校朝会では、演説前日から緊張したのではないかと、当日ランドセルを背負って家を出るとき更に緊張が高まったのではないかと、ステージ上で順番を待っているときは緊張が最高潮に達したのではないかと、じわじわとこみ上げてくる緊張感のなか、よく演説ができたこと褒めました。当選し

た人、そうでなかった人もいるけれども、なれなかったからといって肩を落とす必要は毛頭無いと伝えました。嬉しかった、残念だった、くやしかった、そんなことが入り交じるのが人生！一番大切なのは、コツコツと真面目に努力することと優しさを持ち合わせていることです。立候補者全員に拍手です。



ことばを広げよう

先日の放課後、校長室のドアが少し開きました。「忘れ物。」と言うやいなや、その子は教室に向かいました・・・。児童が普段使っていることばについては以前にも触れましたが、筋道を立てて自分の意思や行動を相手に伝えるスキルが不足しています。私自身も、忘れ物だから取りに来たのだと理解し、聞き返しをしてこなかったのも原因の一つと反省しています。さて、2年生の国語の教科書に「ことばを広げよう」という教材があります。1人の王様らしき人が玉乗りをしている絵を見ながら、その絵の内容を文に書いて説明しようというのがねらいです。この時期の児童は、話したり聞いたり、書いたり読んだりすることにも慣れ、1年生の頃と比べるとことばを用いて伝え合う力が大きく向上します。知っている語句の量が増え、文章でも豊かに表現する力が伸びていく時期です。伝えたいことや伝えなければならない事柄を相手に分かりやすく書きとめる学習をしています。そのことの積み重ねが「先生、忘れ物をしたので、教室へ行って取ってきます。」という適切な言い方に繋がっていくと思っています。



卒業まであと20日あまり

6年生は卒業を控え、家庭科でのプレゼント作り、卒業文集や卒業記念品などに取り組んでいます。卒業記念品製作では、お苗菊の台を作っていますが、校務員の吉見さんが、板を切ったり、板に足をはめ込みやすいように寸法を測りながら削ったりしていただきました。丈夫で立派な台ができあがりつつあります。制作中も吉見さんが6年生の活動を観ていただきました。



学校保健委員会より

学校医、学校歯科医、学校眼科医、学校薬剤師さん、PTA会長さんをお招きし、2月18日（木）学校保健委員会を開催する予定にしていたが、コロナ禍により中止しました。今回は紙面によりご意見を伺うこととし、今後の学校経営に活かしていきます。

- 目的**・・・学校における健康の問題を研究協議し、様々な健康問題に適切に対処するため、学校と家庭、地域社会との間で課題を共有し、子どもの生活行動をよりよくする。
- 委員さんからのご意見**
○コロナ感染症拡大防止に対する手洗い等の励行でインフルエンザ、風邪が減少した。今後も手洗い、3密を避ける等の対応が必要。○コロナ禍によって自宅で過ごす時間が増えたことやゲームやインターネットの普及等が原因かもしれないが、視力0.6～0.3の児童の割合が3年前から増加傾向にある（丹波篠山市）。○う歯数が増加している。自粛期間でおやつを食べる回数が増えたことや、食べている時間が長くなったのが一因ではないか。また、自宅で過ごすことが多くなったため、外で遊ぶことが少なくなり、運動量も減少した。肥満度がやや増加している。散歩するなど、保護者にも適切な運動を勧めてみてはどうか。○これからはコロナと上手につき合って生活しなければならない。感染対策はしつつ、体も心も適度に息抜きするなど、リフレッシュすることが必要だと思う。
- 今後の方針** ①継続した手洗い、うがい、マスクの着用②換気の徹底③下を向いた歯磨き（飛沫拡散防止）④体育科での更なる運動量の確保⑤子どもの健康に関わる保護者への情報提供
学校保健委員の皆様、ご多用の中、ご意見ご感想をありがとうございました。